



# 若年介護を考える シンポジウム

若年介護者(10代・20代で介護を担いはじめた人、その経験が今も続いている人、その経験のある人)は、介護の責任を負うことによって、進学や就職、友人関係や恋愛、キャリア形成にしばしば大きな影響を受けます。「介護・生活・仕事」のバランスを保ち、夢や希望をもって生きるために、どのような支えが必要なのかと一緒に語りあいましょう。

日 時 2015年11月28日(土)13:00~16:00(12:30受付開始)

場 所 京都市男女共同参画センター(「WINGS京都」)2F会議室1・2  
(〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山262)

定 員 30名(先着順:定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 無 料(対象者:若年者の介護・家族介護等に興味・関心のある方、介護・社会福祉等を学ぶ学生)

## プログラム

### ●基調講演

松崎実穂さん(国際基督教大学ジェンダー研究センター)

#### 「家族がケアする若者・子どもについて考えよう」

プロフィール: 1974年東京生まれ。学生であった19歳から26歳の間、認知症の祖父の介護を体験。その後、30代前半で、祖母の入院・在宅での見守りを体験。

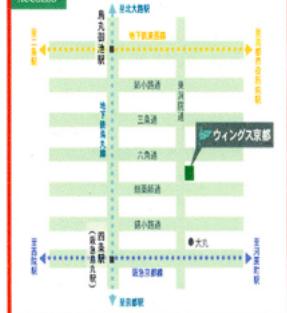
学生の頃、祖父の介護をきっかけに高齢者介護を研究テーマに選んだものの挫折。

その後、数年を経て、再び、自らの経験をいかし、若者・子どもと介護に関する研究に取り組んでいる。



## アクセス

### ACCESS



●地下鉄烏丸御池駅(5番出口)または地下鉄

四条駅、阪急烏丸駅(20番出口)下車徒歩約5分

●一般来館用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

### ●シンポジウム

#### 「体験者が語る介護のリアルから『支える』を考える」

《コーディネーター》

松崎実穂さん(国際基督教大学ジェンダー研究センター)

《シンポジスト》

朝田健太さん(男性介護者を支援する会「TOMO」:孫介護体験者)

22歳から10年間認知症の祖父の介護に携わる。26歳の時から男性介護者を支援するTOMOの会員として活動。

有澤真悠子さん(エキサイト株式会社:孫介護体験者)

28歳から5年間認知症の祖母の介護に携わる。

介護経験をいかし、インターネットにて介護家族支援サービスを立ち上げる。

武藤廉行さん(まごころディサービス管理者:若年介護体験者)

父親の病気をきっかけに25歳で介護の世界に飛び込む。現在はディサービスの管理者として勤めている。

## [主催]一般社団法人いばしょ [共催]公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

◆参加申し込みは、事前に下記の電話、FAX、E-mailのいずれかでお願い致します。

お名前		住所		
E-mail アドレス			電話	( )
ご職業 ご所属				

※E-mailでお申し込みの場合は、お名前、住所、E-mailアドレス、電話、ご職業・ご所属をご記入ください。

※FAXでお申し込みの場合は、このテラシにお名前、住所、E-mailアドレス、電話、ご職業・ご所属をご記入して送信ください。

※お申し込み後の連絡は致しません。当日直接会場にお越しください。定員となり、やむを得ずお断りする場合のみご連絡致します。

※提出頂きました個人情報は連絡、名簿作成等以外には使用しません。

お申込み先:一般社団法人いばしょ 〒615-0061 京都市右京区西院乾町48番地6

☎:090-3613-3518 FAX:075-874-5263 E-mail:info@ibasyo.biz (担当:武田)

※お申し込みは、なるべくE-mailでお願い致します。